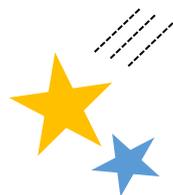


あそびのまなび



1月のテーマ

長浜市児童発達支援センター・こども療育センター

言葉のかけ方



子どもは生活の中の様々な場面で、周りの言葉を聞きながら言葉を獲得していきます。

言葉を育てるための上手な言葉かけとは、どのようなものでしょうか。今回は声かけを「いつ」「どのように」するとよいのか、ポイントをいくつか紹介します。

「いつ」話しかけるか

○お世話をしながら…

おむつ替えの時に「**おむつ替えるよ**」
パンツをはかす時に「**足あげて**」「**あらら、足ひっかかっちゃったね**」普段ごく自然にしている話しかけは、とても大切な「**言葉かけ**」です。

○あいさつ

手を振りながら「**ばいばーい!**」頭を下げて「**こんにちは!**」無理強いする必要はありません。大人が自然に繰り返しましょう。

○子どもの興味に合わせて…

「**子どもの気持ちに添って**」「**子どもが今見ているものについて**」「**子どもからの発信に応える**」のが大切です。言葉は教えたから覚えるというものではありません。興味を持った時にタイミングよく知らせることで、「**わかった! 楽しい!**」という気持ちがふくらみます。

「どのように」話しかけるか

○にこやかに話しかけましょう

「**はいチーズ!**」の表情で話しかけると、にこやかな表情で、明るい声になります。

○子どもの気持ちを口に出していつてあげましょう

頭ごなしに「**片付けなさい!**」でなく、「**まだ遊びたいよね、片付けたくないよね**」と気持ちを代弁してあげることで、子どもは「**気持ちをわかってもらっている**」と感ずることが出来ます。

○「ダメ」の他の言い方を探しましょう

「**走ったらダメ!**」でなく「**歩こうね**」マイナスの行動を否定するときは、プラスの言い方で伝えましょう。

○子どもの言うことを繰り返し、言葉を少し付け加えましょう

子(車を見て)「**ブーブ!**」親「**自動車だね**」より親「**ブーブだね、自動車、ブーブ!**」



子どもの反応をよく観察し、子どもと気持ちを共有しようとする、そういった心構えが大切なポイントです。「好きなことや楽しいことは覚えやすく忘れにくい」ものです。毎日楽しく、たくさん言葉をかけられるといいですね。